

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)竹鼻竹ノ街道町計画 新築工	階数	地上11F
建設地	京都市山科区竹鼻竹ノ街道町30-5	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年8月6日
敷地面積	377 m ²	作成者	株式会社コム設計
建築面積	290 m ²	確認日	
延床面積	2,650 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光発電システムを採用し、住宅性能表示基準・省エネ等級3を取得予定であり、環境に十分配慮した建物とした。	その他 0
Q1 室内環境	シックハウスに配慮した建材を使用。(F☆☆☆☆の建材の使用)	Q3 室外環境 (敷地内) 京都市地球温暖化対策条例、京都市市街地景観条例に適した景観・町並みに配慮した計画とした。
LR1 エネルギー	太陽光発電システムを採用した。また、住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級3を取得予定。	LR3 敷地外環境 現行規制基準を満足する計画とした。
Q2 サービス性能	利用者が、生活習慣や時代に合わせて快適に過ごせるよう、修繕・更新が構造部材を痛めることなく出来るように配慮した。また、各住戸でインターネット利用が可能。	
LR2 資源・マテリアル	節水型の器具を採用し、水資源の保護に心がけた。地域産木材を一定量使用する計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される